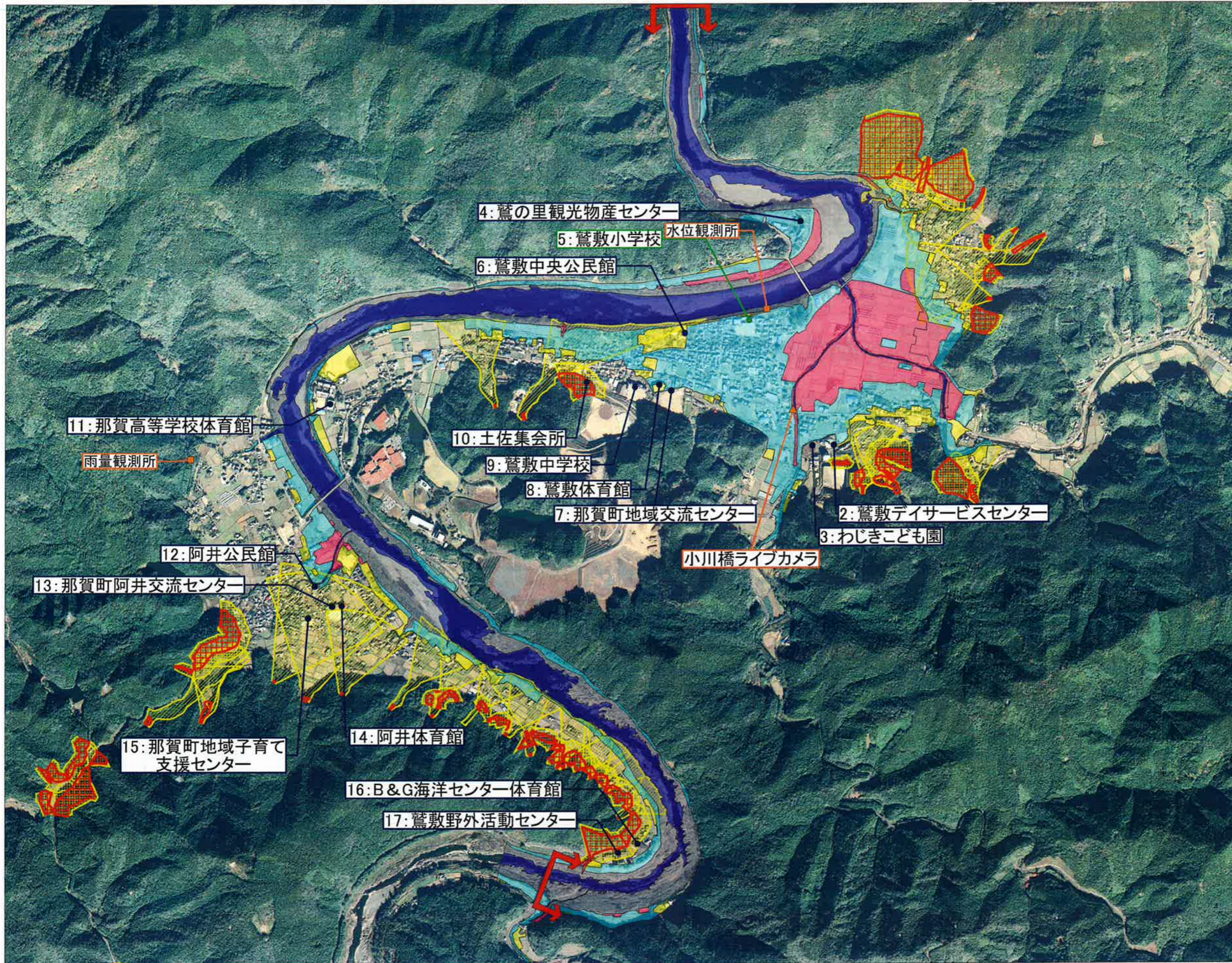


[鷺敷浸水想定区域]

那賀町 洪水・土砂ハザードマップ



ハザードマップの見方

- 浸水深3m以上(2階以上浸水)
- 浸水深0.5m~3m未満(1階以上浸水)
- 浸水深0.5m未満(1階床下浸水)
- 浸水想定区域の指定対象となる水位周知河川

(1)この図は、那賀川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2)この浸水想定区域等は指定時点の那賀川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確立1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の規模の洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4)基本事項等
 作成主体 徳島県
 指定年月日 平成26年11月11日
 対象となる水位周知河川 那賀川水系那賀川
 那賀町百合字石橋(細瀬橋)から市町境まで
 計画降雨 那賀川流域の2日間の総雨量 640mm

- 土砂災害警戒区域 土石流
- 土砂災害警戒区域 急傾斜地の崩壊
- 土砂災害特別警戒区域 土石流
- 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地の崩壊

(1)土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)は土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

(2)土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)は土砂災害が発生した場合に、建築物に破損が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

(3)土砂災害警戒区域にお住まいの方は、大雨の時には警戒避難が必要となりますので、十分注意してください。

(4)このハザードマップは、平成27年2月時点の徳島県の指定に基づいて作成しています。以後も順次指定されます。このハザードマップに記載されていない土砂災害警戒区域等については徳島県のホームページ等で確認してください。

(5)警戒区域以外の箇所でも大雨の時には土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難所、避難経路を確認してください。

- 浸水時すべての階が使える避難所
- 浸水時2階以上が使える避難所
- 水位・雨量観測所
- ライブカメラ

徳島県林業戦略課撮影の空中写真(平成19年撮影)
 承認番号平成27年2月19日林第717号

問合せ先 那賀町役場 地域防災課
 電話0884-62-1183



1:15000

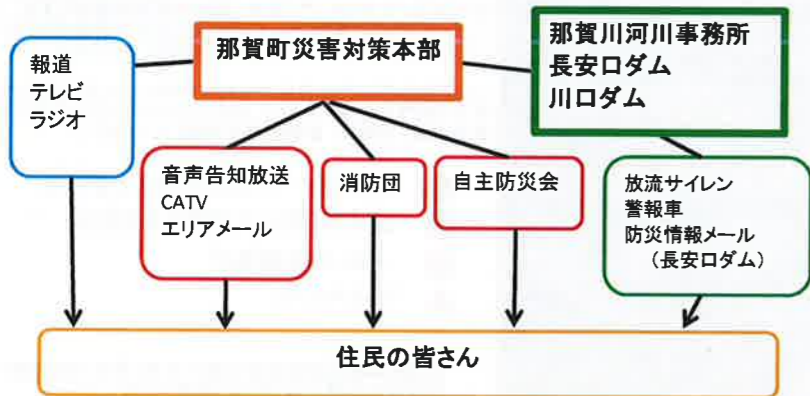


①避難所(鷺敷地区)

No.	施設名	所在地	電話	耐震
1	中山公民館	中山字とふめん36番地	voip 62-8093	○
2	鷺敷デイサービスセンター	和食郷字八幡原5番地1	62-3456	○
3	わじきこども園	和食郷字八幡原1番地1	62-2309	○
4	鷺の里観光物産センター	和食郷字田野82	62-3109	○
5	鷺敷小学校	和食字町117番地1	62-2308	○
6	鷺敷中央公民館	和食郷字南川19番地3	voip 62-8091	×
7	那賀町地域交流センター	和食郷字南川104番地1	62-1183	○
8	鷺敷体育館	和食郷字南川107番地	62-2683	×
9	鷺敷中学校	和食郷字南川119番地	62-2016	○
10	土佐集会所	土佐字南町110番地	-	×
11	那賀高等学校体育館	小仁字大坪179番地1	62-1151	○
12	阿井公民館	阿井字杉の久保17番地1	voip 62-8092	○
13	那賀町阿井交流センター	阿井字杉の久保7番地4	voip 62-8179	○
14	阿井体育館	阿井字杉の久保54番地1	-	×
15	那賀町地域子育て支援センター	阿井字寺西7番地	64-1220	○
16	B&G海洋センター体育館	百合字松の木168番地1	62-1300	○
17	鷺敷野外活動センター	百合字松の木178番地	62-2524	○

災害の種類、規模、場所等により開設する避難所は変わりますので開設については役場からの避難所情報をご確認ください。

②災害情報の伝達手段



避難情報に関わらず少しでも危険を感じたら早めの自主避難を心がけてください。

③災害情報入手先

<p>那賀町CATV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報 ・避難情報 ・河川情報 ・小川橋ライブカメラ 	<p>徳島県HP</p> <p>http://www.pref.tokushima.jp/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県土防災情報管理システム 雨量、河川、道路情報 ・土砂災害警戒区域指定状況 ・総合地図提供システム 	<p>気象庁HP</p> <p>http://www.jma.go.jp/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報
---	--	--

④避難情報等

	発令時の状況	住民のすべき行動
避難準備情報	要援護者等、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。	要援護者等、特に避難行動に時間を要する方は、計画された避難場所への避難を開始(避難支援者は支援行動を開始)してください。上記以外の方は、家族との連絡、非常用持ち出し品の用意等、避難の準備を開始してください。
避難勧告	通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。	通常の避難行動ができる方は、指定された避難場所へ速やかに避難してください。
避難指示	前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状況。堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。	避難勧告等の発令後で避難中の時は、直ちに避難を完了してください。まだ避難していない時は、直ちに避難してください。避難場所へ避難する余裕がない時は、安全な建物の2階に避難するなど、生命を守る最低限の行動をとってください。

土砂災害警戒情報

土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに住民の自主避難の判断の参考となるよう、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

記録的短時間大雨情報

大雨警報発表中に数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析した場合に発表されます。

特別警報

数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や町から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

⑤土砂災害

土石流が発生しやすい川とは？

土石流が起きやすいのは、山から流れてくるこうばい(かたむき)の急な谷川で、川岸や川の上流にくずれやすい土砂がたくさんあるところ。ふだんは水が流れていない谷でも、大雨が降ると急に流れのはげしい川になるところがあります。また、谷の出口に大きな石がごろごろしているところは、前に何度か土石流が起こっていることが考えられますから、注意が必要です。

土石流のまえぶれ

- ・山全体がうなっているような音がしたり
- 地震のようにふるえたり異常なおいがする
- ・川の水がにごり、水と土石が混ざり倒れた木が流れて
- ・雨は降り続けているのに 川の水が減る
- ・山鳴りがする



がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)のまえぶれ

- ・がけから急に水がわき出る
- ・がけにひびわれができる
- ・がけから小石がバラバラ落ちてくる
- ・がけから急に水がわき出る
- ・わき水の量が急に増えたり
- ふき出したり急に止まったりする
- ・水がにごる



土石流



がけ崩れ



(資料提供: NPO法人 土砂災害防止広報センター)

⑥浸水深想定区分に即した避難行動の心得

浸水深想定区分	避難行動の心得
3m以上	・2階床面が浸水する2階建て住宅では、避難が遅れると危険な状況に陥るため、住民は避難情報のみならず、出水時の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難してください。 ・高い建物の住民でも、浸水深が深く、水が退くのに時間を要することが想定されるため、事前に避難所等の安全な場所に避難してください。
0.5m~3m未満	・平屋住宅又は集合住宅1階の住民は、1階床上浸水になり、避難が遅れると危険な状況に陥るため、避難情報のみならず、出水時の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難してください。 ・2階以上に居室を有する住民は、浸水が始まってからの避難は水深0.5mでも非常に危険なため、避難が遅れた場合は、無理をせず自宅2階等に待避してください。 ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておく必要があります。
0.5m未満	・避難が遅れた場合は自宅上層階で待避してください。 ただし、浸水時間が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておく必要があります。

⑦平成26年8月10日 台風11号 ダム放流量、水位、雨量情報

時刻	長安ロダム	川口ダム	和食観測所	仁宇		備考
	全放流量	全放流量	水位(T.P.)	時間雨量	累計雨量	
	(m3/s)	(m3/s)	(m)	(mm/h)	(mm)	
0:00	2,407	2,284	46.21	24	380	
1:00	2,641	2,688	46.65	23	403	
2:00	3,096	3,330	47.40	42	445	
3:00	3,818	3,941	48.43	***	***	
4:00	4,529	4,922	***(49.80)	***	511	
5:00	***(4,984)	5,585	***(50.97)	28	539	小川橋冠水
6:00	4,966	6,185	52.03	39	578	
7:00	5,172	6,304	52.86	43	621	
8:00	5,419	6,745	53.56	38	659	
9:00	5,316	6,804	***(54.06)	6	665	
10:00	4,222	6,232	53.96	0	665	
11:00	3,234	5,101	53.03	0	665	
12:00	2,598	4,060	51.24	0	665	
13:00	2,192	3,254	***	0	665	
14:00	1,830	2,715	48.05	0	665	

はん濫注意水位 47.8m 避難判断水位49.3m はん濫危険水位 50.8m

***は欠測のため10分観測の数値を()に参考に表示しています。台風などによる豪雨は局地的に集中する傾向があります。水位はダム放流量の他、流域の雨量、支流の水量によっても変動します。あくまでも避難の参考にして早めの行動をとってください。

ハザードマップは住民の皆さんが平時に災害リスクを認識し、どのように避難をするのかについて考え、いざという時に的確な避難行動をとることができるようにするためのものです。

問合せ先 那賀町役場 地域防災課 電話0884-62-1183